

東京  
芸術  
劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre

HIROSHIMA WIND ORCHESTRA

広島 Wind from Hiroshima  
ウインド  
オーケストラ



指揮  
広島ウインドオーケストラ音楽監督  
下野 竜也  
Tatsuya Shimono

東京芸術劇場 Presents  
プラスウィーク2018

# 広島ウインドオーケストラ 結成25周年記念 東京公演 ~会~ KAI

ユーフォニアム ソロ  
外圍 祥一郎  
Shoichiro Hokazono

- 大胡 恵 ● 少しずつ訪れた悲しみは、いつの間にか去っていったらどうか? **初演**
- 長生 淳 ● ユーフォニアム協奏曲《天涯の庭》
- 西村 朗 ● 秘儀Ⅶ《不死鳥》～広島ウインドオーケストラ結成25周年記念委嘱作品～ **初演**
- 高 昌帥 ● ウインドオーケストラのためのマインドスケープ

2018  
11/29 木

19:00開演〔18:00開場〕

東京芸術劇場  
コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線  
池袋駅西口徒歩2分

全席指定

【S席】¥4,000 【A席】¥3,000 【B席】¥2,000

【U25割引】全席¥1,000割引

※U25割引、車椅子席(S席 ¥3,000)は東京芸術劇場ボックスオフィス限定販売

チケット取扱

東京芸術劇場  
ボックスオフィス  
TEL.0570-010-296  
(10:00~19:00/休館日を除く)  
<http://www.geigeki.jp/>

チケット  
ぴあ

Pコード: 128-579

【WEB】<http://t.pia.jp/> 【PC/携帯】  
【店頭】セブン-イレブン「マルチコピー機」  
サークルK・サンクス「Kステーション」  
【電話】TEL(0570)02-9999 【要Pコード】

- 主催 / 広島ウインドオーケストラ
- 共催 / 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
- 助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会
- 協賛 / コマキ通商株式会社 ■後援 / 広島県・広島市・広島市教育委員会

お問い合わせ 広島ウインドオーケストラ事務局 TEL.080-1647-5951 FAX.082-815-6818  
メールアドレス [info@h-wind.com](mailto:info@h-wind.com) ホームページ <http://h-wind.com>

※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
※やむを得ない事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんので予めご了承願います。

# これが、下野竜也と広島ウインドオーケストラだ!

2011年、広島ウインドオーケストラの音楽監督に就任した下野竜也は、3つの選曲方針を掲げた。

「日本の作品」「吹奏楽のための交響曲」「(集客目当てで)コンクール課題曲はやらない」

その時から広島ウインドオーケストラの定期演奏会のプログラムは大きく変貌し、毎回のテーマを意味づける完成度の高い演奏を聴こうと、全国各地から広島に足を運ぶファンも増えた。そして2018年、結成25周年を記念する公演で彼らが世に問うのは、日本を代表する現役の作曲家たちの作品集だ。

多様な文化への深い造詣によるアイデアを、独自の技法で紡ぐ大胡恵の《少しずつ訪れた悲しみは、いつの間にか去っていったらどうか?》は、下野竜也が演奏を熱望した未発表作。未知の音世界の出現に期待が高まる。人気作曲家・長生淳の《天涯の庭》は、盟友・外園祥一郎の超絶技巧を念頭に書かれたユーフォニウム協奏曲。初演から20年を経てなお鮮烈なサウンドが聴く者を圧倒する。重鎮・西村朗の《秘儀》シリーズ最新作、Ⅶ《不死鳥》は、間違いなくこの公演最大の話題であろう。濃密で幻惑的な響きの曼荼羅が、伝説上の鳥の名を冠し、東京芸術劇場に舞い降りる。ほの暗い情念と恐るべきヴァイタリティが同居する高昌帥の《マインドスケープ》は、数多くのバンドが取り組む名作。ごく最近録音も行った下野&広島ウインドオーケストラの確信に満ちた演奏で、新たな風景が心に広がることだろう。

## さあ、私たちの時代の音楽を楽しもう!

指揮

広島ウインドオーケストラ音楽監督

### 下野 竜也 *Tatsuya Shimono*

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア管、チェコフィルハーモニー管、シュツトガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンパレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。2006年に読売日本交響楽団の初代正指揮者に迎えられ、2013年4月からは、同団の首席客演指揮者を務めている。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督に就任。更に2014年4月からは、京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。霧島国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本をはじめ、数多くの音楽祭にも参加。近年はオペラの分野でも新国立劇場、日生劇場、二期会をはじめとした注目の公演で指揮を務めている。上野学園大学音楽学部教授。これまでに山崎康徳賞、渡邊曉雄音楽基金音楽賞、新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞などを受賞。2017年4月からは、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、広島交響楽団音楽総監督に就任。

【公式ホームページ】 <http://www.tatsuyashimono.com>

ユーフォニウム ソロ

### 外園 祥一郎 *Shoichiro Hokazono, Euphonium*

1994年東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。ユーフォニウムを三浦徹、露木薫、S.ミードの各氏に師事。1992年第9回日本管打楽器コンクール第1位および大賞受賞、97年P.ジョーンズ・プラス・コンクール(フランス)ユーフォニウム部門優勝。これまでにN響、東響、東京佼成ウインド、大阪フィル、九響、札響、名フィル等と共演。また航空自衛隊航空中央音楽隊(2013年3月まで在籍)では数多くの公演でソリストを務める。国内外でソロ公演を行う他、ザ・チューバ・バンド、ワーヘリ(チューバ奏者、次田心平とのデュオ)等のアンサンブルを主宰し意欲的な取り組みを行っている。「題名のない音楽会」、「らららクラシック」を含むテレビ番組やNHK-FM等にも出演。これまでにCD25作品をリリース。東京音楽大学教授、エリザベト音楽大学、昭和音楽大学各客員教授および相愛大学音楽学部特別講師。ビュッフェ・クランボン・ジャパン専属講師。

### 広島ウインドオーケストラ *Hiroshima Wind Orchestra*

1993年広島ウインドオーケストラは広島を中心に活躍するプロ演奏家により吹奏楽の素晴らしさ、そして音楽を通じ平和への願いを発信するため結成された。年2回の定期演奏会を開催する他、学校公演、慰問コンサートといった地域に根差す活動だけでなく、県内外からの依頼コンサート等現在までその活動範囲を広げている。2003年吹奏楽名曲集「バンド・クラシックス・ライブラリー」(ブレンミュージック)の第1弾CD「春の獵犬」が発売、このシリーズは2009年までに全12弾が製作され、現在も販売中のロングセラーとなる。結成10周年記念第20回定期演奏会ではユニセフ難民救済チャリティー募金事業を行う。2011年下野竜也が音楽監督に就任。“邦人作品”・“芸術性を追求した吹奏楽”を核とした意欲的なプログラミングが始まる。下野&HWO初となるCD「兼田敏ウインドオーケストラのための交響曲」はレコード芸術誌の特選版として話題を集め、音楽の友社第49回「レコード・アカデミー賞 特別部門 吹奏楽」を受賞。日本管打・吹奏楽会第23回アカデミー賞(演奏部門)、第35回広島文化賞、2014年度広島市民賞を受賞。2017年初の海外公演となる第71回ザ・ミッドウエストクリニックへ招待を受けファイナルコンサートに出演。クリニック史上最高の公演と絶賛を博す。しなやかで美しいサウンドと意欲的なプログラムが各方面から注目を集め、吹奏楽の新たな可能性を感じさせるプロフェッショナル吹奏楽団として、さらなる躍進を続けている。

【公式ホームページ】 <http://h-wind.com>

【Facebook】 [facebook.com/hiroshimawind](https://www.facebook.com/hiroshimawind)

【Twitter】 [twitter.com/h\\_windorchestra](https://twitter.com/h_windorchestra)

【Instagram】 [instagram.com/hiroshima.wind.orchestra](https://www.instagram.com/hiroshima.wind.orchestra)